



# 第35回近畿高等学校バスケットボール新人大会

## 個人トータル表

女子		令和7年2月16日	9:30	開始
準決勝		和歌山ビックホエール	D	

◎	大阪薫英女学院	75	(大阪)	73	京都両洋 (京都)
17	1st	24			
14	2nd	11			
22	3rd	15			
15	4th	18			
7	OT	5			

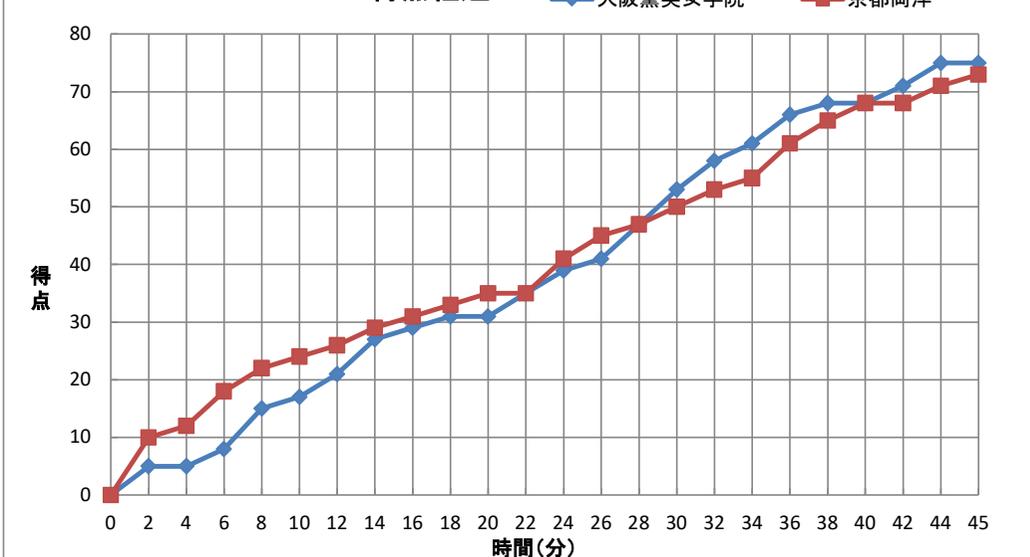
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	幡出 麗実	15	4	1	1	2	4	片山 志歩	-	-	-	-	-
* 5	三輪 美良々	19	0	9	1	5	5	高原 綾乙	-	-	-	-	-
* 6	的場 梨緒	5	0	2	1	1	11	堀 優夏	-	-	-	-	-
* 7	松本 璃音	12	2	3	0	0	12	松下 ミレナ	0	0	0	0	0
* 8	細澤 幸生	6	0	3	0	1	* 14	ピクトリア ウビ オコイ	21	0	10	1	4
9	荒木 琉伽	-	-	-	-	-	* 17	大西 凜子	14	0	7	0	4
10	富田 涼々野	-	-	-	-	-	25	田中 佳音	-	-	-	-	-
11	杉山 もも	2	0	1	0	0	* 26	藤田 瑞木	15	2	3	3	2
12	西澤 楽菜	-	-	-	-	-	* 30	古川 光鈴	19	0	8	3	1
13	島袋 凜心	-	-	-	-	-	32	中村 璃音	-	-	-	-	-
14	守能 董子	0	0	0	0	0	33	近藤 貴子	-	-	-	-	-
15	黒川 春陽	16	0	8	0	1	55	吉田 萌心	-	-	-	-	-
16	原 乙羽	-	-	-	-	-	70	柴田 絢夏	-	-	-	-	-
17	川口 莉瑚	-	-	-	-	-	83	稲葉 明花	1	0	0	1	2
18	齋藤 穂佳	-	-	-	-	-	* 88	竹口 桜礼	3	1	0	0	0
コーチ	安藤 香織						コーチ	吉田 聡					
Aコーチ	長渡 由子						Aコーチ	甲良 泰明					
合計		75	6	27	3	10	合計		73	3	28	8	13

クルーチーフ: 小松 綾実

アンパイア: 高木 悠

アンパイア: 陳 海登

## 得点経過



TO	1・2Q	3・4Q	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	39:15	:	:	44:45
TeamB	6:39	13:52	25:33	38:34	:	42:14

〔戦評〕

[第1Q]大阪薫英#4#5#6#7#8、京都両洋#14#17#26#30#88でトスアップ。薫英は#5のハイポストからの1対1で攻撃のリズムをつかもうとするが、京都両洋はうまくスペースをついた#30のドライブインや#14の高さを活かしたリング下で序盤は優勢に攻める。17対24、京都両洋リードで第1Q終了。

[第2Q]両洋#14が3ファールでベンチに下がると薫英は、アウトサイドでパスを回しながら#5がハイポストからの1対1、速攻が決まり5点につめる。その後も薫英は激しいディフェンスを繰り広げ、#8のシュートで残り3分でついに同点に追いつく。しかし、両洋は慌てることなく31対35で両洋リードで前半終了。

[第3Q]開始早々、薫英#5の連続得点、#8のジャンパーでついに37対35で逆転、すぐさま両洋#26ジャンパー、ドライブインで再び逆転する。その後も一進一退の展開が続くが、第3Q終盤、薫英の3Pシュートが連続で決まり、53対47となる。両洋も#26が入り返し、53対50で薫英リードで第3Q終了。

[第4Q]薫英はリング下の巧みな合わせ、再び#4#7の3Pシュートでこのゲーム最大の8点差に広げる。しかし両洋は#17がタフショットを決めて食らい付いていく。#30がフリースローを2本とも決めきり3点差とする。残り1分26秒で両洋のタイムアウト後、#14のシュートが外れたが、#30がリバウンドシュートを決め1点差。その後、両洋#26もフリースローを得て1本を決め同点となり、68対68で延長へ。

〔延長〕

薫英は#4の気迫あふれるドライブインでバスカンを決め3点差。薫英#5が5ファールで退場となったあとは、#15が華麗なステップで#14をかわしてシュートを決め5点差。しかし、両洋は#83、#17が果敢にドライブインを仕掛けて2点差で食らいつく。薫英、残り14秒でタイムアウトを取り、プレイ再開後は全員で、ボールキープをして75対73で試合終了した。リング下の攻防、トランジションの速さ、フィジカルの勝負、個々の1対1スキル、どれをとっても見応えのあるナイスゲームであった。

戦評: 北川 弘幸

記録: 桐蔭